

健康への取り組み

2022年3月版

ファイザーが取り組んでいる、社員や社員のご家族の健康づくりについて、ご紹介します。

◆ 健康経営宣言

ファイザーは、社員一人ひとりの潜在能力を解き放つために、社員や社員を支えるご家族の健康づくりや、イキイキと働ける職場づくりを推進します。

◆ 目的

ファイザーの企業目的「患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生み出す ~Breakthroughs that change patients' lives~」を実現するために、社員一人ひとりの潜在能力を解き放つこと（Unleash the power of our people）を経営戦略の一つに掲げています。社員一人ひとりが個性と能力を十分に発揮するためには、心身の健康は必要不可欠であり、人々の健康に貢献し続けるための重要な条件でもあります。

◆ 主な目標

1. 社員の喫煙率：0%
2. 有給休暇取得率：80%以上（当年4月に付与される有給休暇を3月末までに80%取得）
3. 社員や社員のご家族（配偶者、40歳以上の被扶養者）の健診受診率：100%
4. メンタル事由の休職率の抑制（今後より激化することが見込まれる社内外の環境変化に適用）

◆ 体制

1. 健康経営推進委員会の開催（年4回）：ウェルネスセンター（産業医・保健師）、ファイザー健康保険組合、労働組合などが集まり、社員や社員のご家族の健康づくりの企画や運営を議論

2. People Manager Meeting（随時）：部下を持つライン管理職全員に対し、適切な就業管理、長時間労働の削減、有給休暇の取得促進などを啓発
3. メンタルヘルス対策（随時）：社員へメンタルヘルス教育の機会を幅広く提供
4. 衛生委員会（毎月）：労使が一体となっておこなう、健康や労働災害防止の取り組み
5. 役員への報告（随時）：経営層と様々な健康への取り組みを連携

◆ 主な取り組み

1. 36協定などの労働基準関係法令の遵守
2. 有給休暇の80%以上の取得の促進
3. ストレスチェックの実施と結果分析による職場の改善
4. 柔軟な就業環境の実現（フレックスタイム制度や在宅勤務制度の推進）
5. 新型コロナウイルス感染予防（職域接種、原則在宅勤務、セルフケアウィーク）
6. 女性の健康課題に関する取り組み
7. ファイザー健康保険組合とのコラボヘルスの推進

（参考）戦略マップ

